

長万部の

教育 コーナー



今、学校では

夏が来た!

長万部マリア幼稚園

♪ともだちができたすいかの名産地♪7月のお誕生会は恒例のすいか割り。前日に届いたすいかの前には自由画帳とクレヨンを片手にみんな集まってきます。思い思いにすいかのイメージで描いたり、年中・年長になるとすぐ観察し、しま模様はまっすぐではないことに気付きながら描いてみたり、集中して時間をかけて描いたり。美味しそうなのにすいかが完成しました。ご褒美はすいか割り。上手く当たったり当たらなかったりでしたが美味しくお腹の中に取りました。暑い日には水遊



び。砂場に水を入れて泥んこ作り。おにぎりや泥水で顔を汚したり、それぞれ遊びを満喫しながら短い夏の遊びに触れ、向日葵のように元気に過ごしています。

スクールヘルスリーダーから学ぶ

静狩小学校

本校は、少人数のため、養護教諭（保健の先生）未配置校です。そこで、子供たちの健康に関する指導の一層の充実を目指し、「スクールヘルスリーダー派遣事業」を活用して、元養護教諭の住友比佐子先生を年間十一回招き、子供たちの健康指導、保健だよりの作成、健康に関する掲示物の作成などのサポートをしていただいています。

いつもは給食前のわずかな時間の中で健康に関するお話をしていたのですが、七月二十一日（金）には、学級活動の一時時間を使って、「夏の健康な過ごし方」について授業をしていただきました。どの子も真剣に取り組み、「早寝早起きの大切さ」「朝ご飯を食べることの大切さ」「朝の排便の大切さ」「体を清潔にすることの大切さ」「運動の大切さ」についてしっかり学ぶことができました。また、「熱中症になったときの対処の仕方」も知ることができました。住友先生は、来校したとき



はいつも笑顔で、優しく包み込むように子供たちに接してくれます。ですから、子供たちは、住友先生の来校を心待ちにし、住友先生からの学びを楽しみにしています。

こんな制度をご存じですか？

◎就学援助制度とは・・・

お子さまが、小・中学校に通学するうえで、経済的な理由によりお困りの方に対し、学校給食費・学用品費・修学旅行費などが支給されます。

◎特別支援教育就学奨励費とは・・・

国の補助に基づき小・中学校の特別支援学級に在籍するお子さまがいる家庭に、奨励費の支給を実施するもので、学校給食費・学用品費・修学旅行費などが支給されます。学用品費の支給には領収書またはレシートの提出が必要となりますので保管しておいてください。（新1年生の準備用学用品も対象となります。）

【お問い合わせ先】

学校教育係
(☎2-2748)



写真で見る 学校の様子

長万部小学校



啓発運動「旗の波運動」 ～7月11日



啓発運動「旗の波運動」 ～7月11日



5年生「生け花教室」 ～7月13日



5年生「生け花教室」 ～7月13日



平成29年度 夏休み「きらめきDAY」～7月26日・27日



平成29年度 夏休み「きらめきDAY」～7月26日・27日



長万部中学校長

長谷川 秀雄

『心訓』

数年前、友人たちと食事をしたときのことです。友人の一人のAさんは最近の若者像について話し始めました。「この前、新人社員に出張を命じたら、親に相談してきませんと言う。会社を休むとき、親から電話がかかってきて休ませますと言う。勤めたと思ったら一年も持たずに辞めてしまうものがある。こんな状態はうただけじゃない。電話があるのはまだいい方で、朝、本人から相手方への入店連絡がないので、連絡を忘れているんだなと思っていたら、出先の店から『来ていないが、あなたの会社はどうなっているんだ』ということもあった。」このような話が止まらない。頑張っている若者もたくさんいるよとAさんに言うのだが、とりつく島もありません。

「最近の若者」は、大昔から続いている枕詞のようです。一部の若者のことを捉えてみんながそうであるかのように誇大表現してしまう。十把一絡げにされる若者もたまつたものではありません。今年二月の総務省統計局の調査結果から、現在日本

には155万人のフリーターがいるそうです。Aさんと話をした当時、フリーターは約200万人いて、特に18歳～24歳までの若者の職場への定着意識は、外国と比較しても日本は下位の方で20%台という状況でした。「会社の求人は需要の方がすでに多いのに定職に就かない。かえって外国人の方が一生懸命に働くから、そちらを雇う。この先どうなっていくのかね。」とAさんは続けます。話をしているうちに、彼が日本社会を憂えていることが分かりました。そして、それは大人側の問題であることを分かって話をしていったのです。こうした話の行き先は人間の生き方や教育にたどり着きます。人よりたくさんものや贅沢なものを持つことが必ずしも幸せにつながるということ。やりたくない、やりたくないの二者択一ではなく、やりがいは続けることの中で見つかること。そういうことを確かめる機会となりました。昔の人はたいしたもので、人間が社会で生きる指針を福沢諭吉の言葉にみることでできます。

- 一 世の中で一番楽しく立派なことは、一生懸命に働くことです
- 二 世の中で一番さびしいことは、人間として教養のないことです
- 三 世の中で一番さびしいことは、する仕事のないことです
- 四 世の中で一番さびしいことは、他人の生活をうらやむことです
- 五 世の中で一番尊いことは、人のために奉仕し、けつして恩にきせないことです
- 六 世の中で一番美しいことは、すべてのものに愛情を持つことです
- 七 世の中で一番悲しいことは、嘘をつくことです

『心訓』 福沢諭吉